



教育相談

不登校予防のための初期対応を！ 全職員で！！

6月、子供たちの登校の様子はいかがだったでしょうか？中には、年度当初の学校行事が済んだことで単調な毎日を感じたり、梅雨に入り登校を負担に感じたりして、欠席が増えた子供がいるかもしれません。欠席した子供の状況から「不登校の兆候かもしれない」と感じたら、すぐに初期対応を始めることが不登校の予防につながります。初期対応の流れをつくり、全職員で取り組みましょう！

不登校予防のための初期対応のポイント

欠席1日目

たとえ病欠であっても、欠席したことで翌日の登校を不安に思う子供もいます。放課後などに電話を行い、子供の話を聴いたり翌日の予定を知らせたりして、登校への不安を取り除きましょう。

連続欠席2日目

子供の最近の状況をチェックしてみましょう。

- ☐ 表情がさえない、顔色が悪い
- ☐ 遅刻や早退が増えている
- ☐ 保健室の利用が増えている
- ☐ 友人関係でトラブルがあった
- ☐ 休み時間に一人である
- ☐ 授業中のグループ活動がつまらそうである
- ☐ 家庭環境に変化があった
- ☐ 兄弟姉妹の欠席が増えている

状況によっては電話ではなく、子供や保護者に会う必要があるかもしれません。直接会っておくことが、その後の関わりにもつながります。

連続欠席3日目以降

欠席が長期化する兆候と捉えて、関係職員でチームを組んで、登校に向けた支援を始めましょう。子供と関わりの深い先生が担任と一緒に家庭訪問をしたり校門で子供を出迎えたりするなどの方法を考え、チームで情報共有と役割分担をしましょう。

不登校予防の初期対応の流れ〈例〉

欠席1日目

【電話】を掛けて、子供の声を聴きましょう！

「心配したよ。今の調子はどうかな？」



◇子供の状況の把握・保護者からの情報収集

◇病欠の場合：病状と医療機関の診察の確認

連続欠席2日目

【電話】または【家庭訪問】をしましょう！

「休みが続いて、心配しているよ！」



※家庭訪問をする場合は、事前に電話連絡を入れます。会えないときのために「心配している」気持ちを伝える手紙を用意しておきましょう。

◇子供の状況の把握・保護者からの情報収集

◇病欠の場合：病状と医療機関の診察の確認

連続欠席3日目

【家庭訪問】をして、子供に会いましょう！

「休みが続いたので、心配で顔を見に来たよ！」



◇子供の状況の把握・保護者からの情報収集

【チームでの支援】を始めましょう！

「明日もお休みなら、一緒に家に行きませんか？」



◇登校に向けた支援の方法や役割分担の確認

※いじめが疑われる場合は、直ちに覚知報告を行い、校内いじめ対策委員会を開催します。

【それでも困った時は…】 校内での対応が難しいときは、教育センターでも相談を受け付けております。

※教育センターWeb「教育相談」をご覧ください。 <http://www.saga-ed.jp/shidou/soudan/index.html>

このページの記事についての問い合わせ先

生徒指導担当 0952-62-5211（代表）

2期 開催講座 申込み

6月30日に2期開催講座(7/21以降実施分)の申込みが終了しました。1期開催講座に続き、多数の受講申込みありがとうございました。2期講座も「時代のニーズに合わせた講座」「忙しい先生方のための講座」など、魅力がある講座や学校の近くで受講できる講座も準備して、先生方の受講をお待ちしています。

追加申込みについて

申込み終了時点で定員にまだ空きがある講座は、順次、追加申込みを受け付けます。申込み可能な講座については、7月6日にSEI-Net 文書管理を通じて追加申込みの案内をする予定です。

希望の方は、管理職を通してお申込みください！
(詳細はSEI-Net 文書管理にて連絡します)

※受講を検討される際は、右のリンク先から講座内容をご確認ください。

佐賀県教育センター

TEL:0952-62-5211(代)
FAX:0952-62-6404
kyoikucenter@mail.saga-ed.jp

トップ > 研修・講座 > 研修講座案内

研修講座案内

基本・特別研修 (実施要項)	専門研修 (実施要項)	前講座 (実施要項)	ワンポイント出前講座 (実施要項)	公開講座 (実施要項)
申込方法		遅刻・早退	受講上の留意点	
本年度の 研修講座の特色	研修講座の内容	台風などの荒天時における学校等への連絡について		

☆「プロジェクト外研究」公開授業研究会の一覧と実施要項は公開講座にあります。

■このページに関するお問合せは、短期研修担当までお願いします。(電話:0952-62-5212)

Copyright(C)2017 SAGA Prefectural Education Center All Rights Reserved.

「研修講座案内」トップページ

【講座近況】春日北小学校での講座授業がスタート！



【小学校国語科Ⅰ講座授業】

研究協力校の春日北小学校での講座授業が始まりました。6月19日の国語科講座からスタートし、社会科、算数科、外国語活動の講座で所員による授業を行いました。今年度は、公示された小中学校の新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりの提案を多くの講座授業で行っています。

例えば、算数科では、新学習指導要領の趣旨に沿って「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり」というテーマで授業を行いました。5年生の小数のわり算の学習で、あまりの意味を考える授業でした。子供たちはめあてに向かって、自力解決をしたり、友達と学び合ったりして、一生懸命に学習していました。授業後の研究会でも、受講者の方々から多くの意見や感想を頂きました。午後の講義の様子から、新学習指導要領の実施に対する先生方の意識の高さを感じました。

※中学校、高等学校の先生方に向けては、大和中学校と致遠館高校での講座授業を予定しています。小・中・高等学校共に、まだ追加受講申込みが可能な講座もあります。授業を参観し協議し合う中で、得るものもたくさんあります。先生方の受講をお待ちしています。



【小学校算数科Ⅰ講座授業】

<受講者の声>

- ・単元を見通して位置付けた学習活動のゴールを示す国語科の授業の具体を、実際に見ることができて、とても勉強になりました。書く単元で、自分も取り組んでみようと思います。(小学校国語科)
- ・具体的な事例や研究授業での様子を取り上げながら説明していただいたので、とても分かりやすかったです。演習では講師の先生に気軽に質問しながら学習問題を考えることができ、深い学びへとつながりました。次の社会科講座も参加したいです。(小学校社会科)
- ・基本的なわり算の学習内容を、子供たちが主体的に学べるように、授業の流し方や板書、発問の仕方を工夫されており、参考になりました。学校に帰って、授業に生かしたいと思います。自分が普段行っている授業を見つめ直すことができました。(小学校算数科)

「情報漏洩対策？」と聞いて、何をすればいいのかわからないという方のために、2つのポイントをご紹介します。

① IDやパスワードはどのように管理されていますか？

IDやパスワードは、PCの周辺に書いてあったりすると、重要なデータが抜き取られてしまう原因になります。ID・パスワードは他の人に見られないように、厳重に管理しましょう。IPA（情報処理推進機構）は、パスワードが英字4文字ならば約3秒、8文字であれば46秒で破られてしまうというデータを出しています。しかし、英字（大・小文字区別）＋数字＋記号の8文字であれば解読に約千年掛かると言われています。破られる可能性を減らすために、強固なパスワードを設定し、定期的に更新していきましょう。

② 業務でのメールのやり取りはどうしていますか？

悪意のある第三者から、あたかも業務に関連した内容を装うメールが送られてくることがあります。判断が難しいメールは周囲に相談するか、ヘルプデスクに連絡してください。また、メールの誤送信によって、情報漏洩が起こることもあります。送信の際は再度、送信先を確認の上、送るようにしてください。



学校にとって、情報セキュリティに対するリスクマネジメントは重要な課題の一つです。特に、学校では個人情報を取り扱う場合が多く、これを保護することは学校にとっての社会的責務でもあります。機器やウイルス対策ソフトが最新であっても、それを使う教職員が気を付けていなければ完全とはいえません。佐賀県教育委員会ではSEI-Netを通して、県立学校教職員に向けて「情報セキュリティ対策12箇条」を出して啓発活動を行っています。市町立学校の教職員の方にも参考となる資料です。SEI-Net 4月14日付の「お知らせ」に掲載されていますので、ぜひ確認してみてください。

このページの記事についての問い合わせ先 情報教育担当 0952-62-3554（直通）

サタデーセンター「サタセン」

土曜日に気軽に参加できる自主研修

小・中音楽科 ここは押さえない！器楽指導の基礎・基本（5月13日開催）

自主研修としてカジュアルな雰囲気の中で実施されている「サタセン」です。参加されている先生方は、若い先生からベテランの先生まで幅広い年齢層で、初参加の先生も、毎回いらっしゃいます。交流研修会では、リコーダーと鍵盤ハーモニカの導入における指導のアイディアや留意点について紹介されたり、篠笛の指導法について講義・演習があったりしました。校種別フリートーク・情報交換会では、日頃の悩みを出し合って、時間も忘れるぐらい協議されていました。



【篠笛に挑戦！】

＜参加者の声＞

- ・篠笛は、生徒個人の技能の習得に応じて課題を出せる楽器だということがわかり、実践してみようと思いました。



夏休み中に実施される「サタセン」（土曜日に教育センターで行う自主参加の研修会）の概要をご紹介します。

申込み方法等の詳細な内容は、各「サタセン」の各担当者から学校に案内する予定です。各自で直接お申込みください。（管理職を通しての申込みではありません）

校種教科等	期日	時間	テーマ・内容等	担当・連絡先
高校理科（生物）	7/22	14:00～16:00	教育センターでできる！PCRと電気泳動 ～分子生物学の実験を身近に～	山村 元子 ☎0952-62-5213（山村）
小・中音楽科	7/29	14:00～16:30	「すぐに使える！音楽遊び、音楽ゲームのいろいろ」 授業ですぐに使える音楽遊びや音楽ゲームを紹介します。実際にやってみながら、音楽の学習として、楽しく音楽の力が身に付くような進め方を学びましょう。	副島 和久・坂本 康子・香月 博子 ☎0952-62-5214（坂本）

このページの記事についての問い合わせ先 短期研修担当 0952-62-5212（直通）